取扱説明書

Ver 1.10
(070226)

はじめに

　この度は、ＴＥＬＢＯＳＥｎｅｗＴＡＫＥ３（以降、テイク３と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
　テイク３は１本の電話回線に電話機、ＦＡＸ、モデム等を接続し、自動切替できる装置です。この説明書を良くお読みいただき、テイク３の機能が十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管して下さい。

ご使用上の注意

○本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
○本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
○本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

目　次

1. テイク３を使用するための準備

１．１　必ずお読みください

この取扱説明書は、電話回線自動切替装置「テイク３」の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は湿度の高い場所への設置禁止)を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は火気のそばへの設置禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図はＡＣアダプタをコンセントから抜け)を示しています。

注意事項

■設置場所について

⚠ 警告

● 湿度の高い場所への設置禁止
ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

● 火気のそばへの設置禁止
本機や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。

● 温度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● 油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

● 通風孔をふさぐことの禁止
本機（カバー）の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・あお向けや逆さまにする　・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける　・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む

お願い

● 本機を正常にまた安全に使用していただくために、
次のような所への設置は避けてください。
・ほこりや振動が多い場所　・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

（1）もしもこんなときは

⚠ 警告

● 発煙への対処
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のＡＣアダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 水が装置内部に入った場合の対処
万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機のＡＣアダプタを抜いて、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 異物が装置内部に入った場合の対処
本機（カバー）の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機のＡＣアダプタを抜いてご購入店か当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 電源コードが痛んだ場合の対処
電源コードが痛んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のＡＣアダプタを抜いてご購入店か当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。

（2）電源について

⚠ 警告

● 商用電源以外の禁止
ＡＣ100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● ＡＣアダプタ
専用のＡＣアダプタ以外は絶対に使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

● 電源コードの取扱注意
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手での操作の禁止
ぬれた手でＡＣアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● たこあし配線の禁止
テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

● アダプタの取扱注意
ＡＣアダプタを抜くときは、必ずＡＣアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 乗ることの禁止
本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

（３）禁止事項について

⚠ 警告

● 改造の禁止
本機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● ぬらすことの禁止
本機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

● 異物を入れないための注意
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合は火災・感電・故障などの原因となります。

（４）その他のご注意

⚠ 注意

● 雷のときの注意
雷が激しいときは、ＡＣアダプタとモジュラーコードを抜いてください。
万一落雷があった場合、火災・感電・故障などの原因となることがあります。
雷が発生した際は、感電のおそれがあるので電源ケーブルなどに触れないようにしてください。

● ＡＣアダプタの清掃
ＡＣアダプタとコンセントの間のほこりは定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。
火災の原因となることがあります。

● 長期不在のときの注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

■日頃のお手入れ
汚れたら、ＡＣアダプタを抜いてから乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと乾いた布でふきとってください。
化学雑巾の使用は避けてください。

１．２　回線接続の前に

・テイク３は（財）電気通信端末審査協会の認定品です。

・２線式の電話回線に使用することができます。４線式等の電話回線には接続できません。

・ＰＢＸ、ボタン電話の内線に接続する場合、電気的仕様がＮＴＴと同じかどうか確認してください。仕様がＮＴＴと異なりますと機能が正常に働かないことがあります。

・仮着信方式を使用しておりますので、自動ベルモードでお使いの場合、先方は呼出し中も課金されます。

・キャッチホンは接続できません。

・ピンク電話（硬貨収納信号送出サービス加入）回線にテイク３の接続はできません。（販売店にお問い合わせください。）

・ナンバーディスプレイサービス回線にも接続できますが、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。
また、接続されるナンバーディスプレイ電話機によってはテイク３、電話機などが正常に動作しない場合があります。なお、仕様上ＦＡＸ受信の際も、電話機が数回鳴動することがあります。

・接続される電話回線またはＴＡによっては、正常に動作しない場合があります。

・留守番電話機は接続できますが、機種によっては正常に動作しない場合があります。

・Ｆネット１３００Hz無鳴動サービスには使えません。

１．３　商品構成

セットを確認してください。

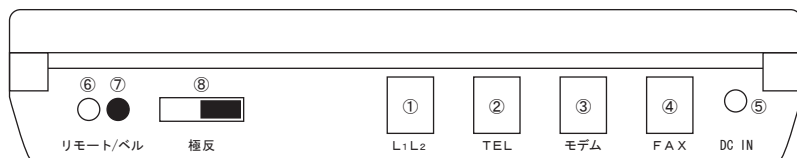
ご使用いただく前に、次のものが全部そろっているか確認してください。
万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社までご連絡ください。

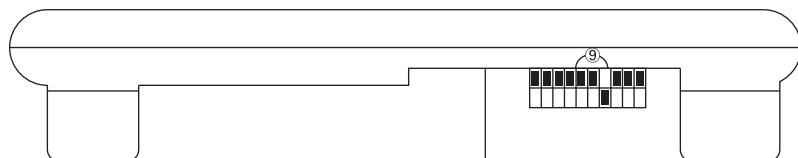
株式会社 レッツコーポレーション

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内２丁目 18-20
坂長ビル４F
ＴＥＬ　（０５２）２０１－６２３０
ＦＡＸ　（０５２）２０１－５０５０
メール　support@lets-co.co.jp

1	テイク３　本体	１台
2	ＡＣアダプタ（DC15V、400mA、センターマイナス）	１個（コードの長さ：1.8m）
3	モジュラーコード（先端、終端ともにモジュラー）	２本（コードの長さ：2.0m）（ストレート、クロス各１本）
4	取扱説明書	１冊
5	保証書（取扱説明書内）	

1．4　外観及び名称と説明

1．背面図

2．上面図

３．右側側面

４．名称（説明）

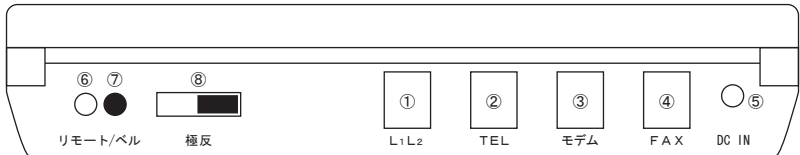
	名　　称	は　た　ら　き
①	回線接続用モジュラー端子	回線とテイク３を接続するコネクタです。
②	電話機接続用モジュラー端子	電話機、留守番電話機を接続するコネクタです。
③	モデム接続用モジュラー端子	モデムを接続するコネクタです。
④	ＦＡＸ接続用モジュラー端子	ＦＡＸを接続するコネクタです。
⑤	電源アダプタ接続用ジャック	付属のＡＣアダプタを接続してください。
⑥	リモートランプ	リモートモード設定時に点灯（緑）します。
⑦	自動ベルモード	自動ベルモード設定時に点灯（赤）します。
⑧	極性反転スライドスイッチ	回線側の極性を入れかえます。
⑨	10 連ディップスイッチ	各種設定を行うスイッチです。

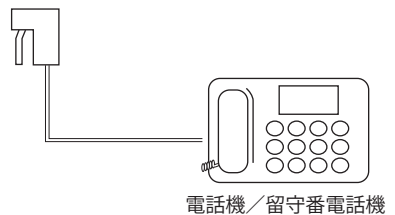
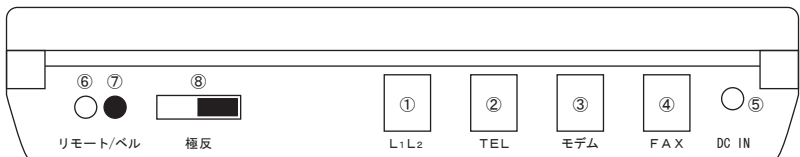
参　考……図は出荷時の設定です。

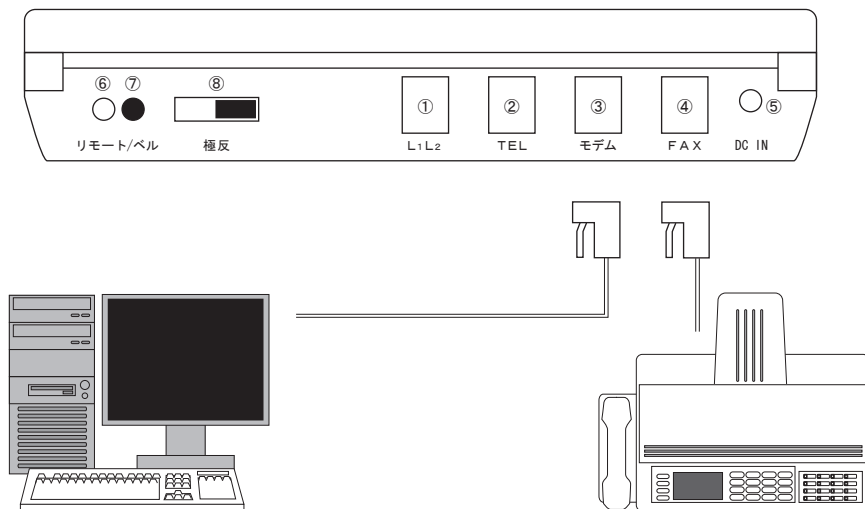
ディップスイッチのカバーを開けるときは、⊖ドライバーなどを使用してください。ケガの原因となることがあります。

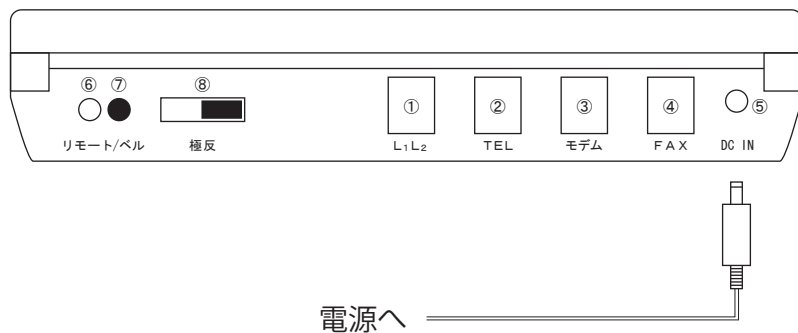
1．5　接続

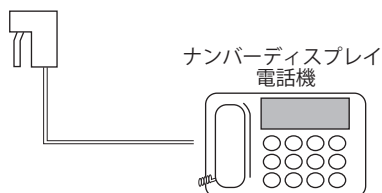
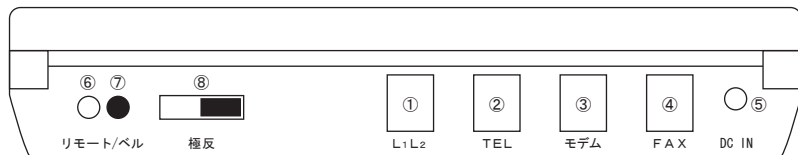
1．回線との接続

付属のコード等で①に接続します。

2．電話機との接続

付属のコード等で②に接続します。

3. ＦＡＸ、モデムとの接続

ＦＡＸは付属のコード等で④に接続します。
モデムは付属のコード等で③に接続します。

4. ＡＣアダプタとの接続

付属のＡＣアダプタを使用し、⑤に差し込んで下さい。
電源はＡＣ100Ｖ、50 ／ 60Hz 以外では使用しないで下さい。

5．ナンバーディスプレイ対応電話機の接続

付属のコード等で②に接続します。

注　意

① テイク３のディップスイッチ２を有り（下）にして、ナンバーディスプレイを有効にしてください。(P.21 を参照)

② モードはリモート／自動ベルどちらでも使用できますが、接続される電話機によっては、正常に動作しない場合があります。

※ ②について、極反スイッチを左右に切替え、電源を OFF/ON すると正常に動作する場合もあります。

動　作

① 着信があるとテイク３が仮着信する前にナンバーディスプレイ電話機が鳴動し、その後、テイク３がリモート／自動ベルモードの動作をします。（ＦＡＸ着信時、ナンバーディスプレイ電話機が２～３回鳴動しますが故障ではありません。）

② ①以降の機能は通常のリモート／自動ベルモードと同じです。

③ 本機能を使用時には、自動モード切替を無し（ディップスイッチ８を無し（上)）で使用して下さい。発信･着信ができなくなる場合があります。

１．６　その他

極性反転スライドスイッチ（背面スライドスイッチ⑧）

回線側（Ｌ１、Ｌ２）の極性を入れ替えることができます。
設定時にテイク３の回線側の極性を入れ替えたい（Ｌ１、Ｌ２を反対にする）時、使用します。

瞬断検知スイッチ（側面ディップスイッチ⑨）

テイク３の着信時に発信側の切断を検知する場合、通常はビジートーンを検知しますが、ＣＰＣ信号（瞬断信号）もあわせて検知する場合に有り（上）にします。

※ノイズ等が多い場合は使用しないで下さい。ノイズをＣＰＣ信号と認識し、切断する場合があります。

１．７　接続での注意

１．テイク３に関しての注意事項

・テイク３は極性に指定はありませんが、接続する電話機／ＦＡＸ／モデムは極性の指定がある機種があります。
・「外部ベル」をご使用のお客様はＴＥＬ端子に並列接続して下さい。
・テイク３をＰＢＸ内線／専用線等に接続した場合に、発信側が電話の呼出し中に切ってもテイク３に接続した電話のベルが所定の回数鳴動する可能性がありますのでご注意下さい。

２．電話機に関しての注意事項

・電話機／留守番電話等、電話着信時に応答する端末をＴＥＬ端子に接続して下さい。
・ホームテレホン／ビジネスホン／交換機等を接続する場合、ＴＥＬ端子から各装置の回線接続端子へ接続して下さい。

３．ＦＡＸに関しての注意事項

・テイク３からの配線はＦＡＸ本体の回線接続端子（Ｌ１Ｌ２、ＬＩＮＥ等）に接続して下さい。
・ＦＡＸは自動受信に設定して下さい。また、ＦＡＸの自動切替は解除して下さい。
　相手機種により受信ができなくなる可能性があります。
・ＦＡＸ本体に発信機能が内蔵されていない時は、必ず発信用の電話機をＦＡＸ本体に接続して下さい。
・本体に電話機が内蔵されているＦＡＸであっても、電話着信時にこの電話機で応答することはできません。電話着信時の応答は、ＴＥＬ端子に接続された電話機から行って下さい。

４．モデムに関しての注意事項

・テイク３からの配線はモデム本体の「ＬＩＮＥ端子」に接続して下さい。
・通常は自動着信の設定で使用して下さい。

１．８　停電の場合

・ＴＥＬ端子のみ使用可能です。必ず、電話機はＴＥＬ端子へ接続して下さい。

２．１

自動ベルモード（初期状態）

電話とＦＡＸを自動的に切替えます。着信するとテイク３が自動応答します。
ＦＡＸ信号を検知するとＦＡＸへ切替えます。ＦＡＸ信号がない場合、電話機を呼出します。

自動ベルモードで使用するためのスイッチ設定			
スイッチ	リモート／ベルモード設定スイッチ	CNG検知スイッチ（ディップスイッチ）	ランプ状態
設　定	自動ベル	上	⑦点灯（赤）

※上図「ランプ状態」については、７ページの １．背面図 を参照して下さい。

※留守などで電話にでることができなかった場合でも電話を掛けてこられた方は課金されます。

※発信側・受信側の双方にテイク３が設置してある時、ディップスイッチ７を有り（上）に設定する事により電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

※電話機の呼出しベル回数は約３０回（約９０秒）以上です。約３０回以内に応答がない場合、切断します。仮着信し、約８秒経過後に電話呼出しを開始します。ＦＡＸ／モデムからの着信の時、検知した時点で呼出しを開始します。掛けてこられた方には、応答までリングバックトーン（疑似呼出し音）を送出します。

2．2

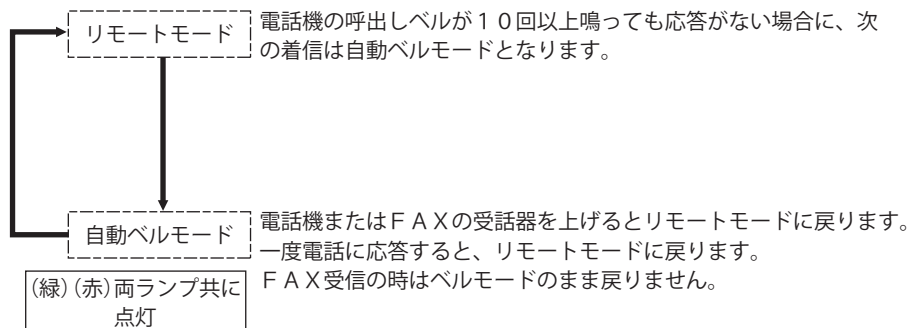
リモートモード

着信すると自動切替を行わずに、電話機を呼出します。応答後に電話機からのダイヤル操作で、ＦＡＸ、モデム端子へ切替えます。（応答するまで課金はされません）

リモートモードで使用するためのスイッチ設定			
スイッチ	リモート／ベルモード設定スイッチ	CNG検知スイッチ（ディップスイッチ）	ランプ状態
設　定	リモート	上	⑥点灯（緑）

※上図「ランプ状態」については、７ページの１．背面図を参照して下さい。

※ＮＴＴの転送サービスを利用する時、このモードでご使用下さい。

※電話機の呼出しベルが１０回以上鳴っても応答がなく、掛けてこられた方が切った場合に次の着信は自動ベルモードとなります。

ご注意

上記の動作は、ディップスイッチ８を有り（下）にした時のみ働きます。
ナンバーディスプレイ有り（ディップスイッチ２が有り（下））の時は、この機能は使えません。

2．3

ＦＡＸモード

電話・ＦＡＸ・モデム等全ての着信に対して、直接、ＦＡＸを呼出します。

ＦＡＸモードで使用するためのスイッチ設定			
スイッチ	リモート／自動ベルモード設定スイッチ	ＦＡＸモード設定スイッチ（ディップスイッチ）	ランプ状態
設　定	リモート	下	⑥点灯（緑）

※上図「ランプ状態」については、7ページの 1．背面図 を参照して下さい。

※ＦＡＸモードはリモートモードでしか設定できません。自動ベルモードで設定すると、誤作動が発生する場合があります。

※ナンバーディスプレイ有り（ディップスイッチ２が有り（下））の時は、この機能は使えません。

3. 操作方法

３．１　基本操作

１　電話､ＦＡＸ、モデムから発信したい時

・通常通りの発信操作をして下さい。

※他の端末が回線使用中の時、受話器から話し中の音がします。

２　掛かってきた電話をうける時

・電話機のベルが鳴ります。受話器を上げてお話し下さい。

３　ＦＡＸが送られてきた時

・自動ベルモードであれば、テイク３がＦＡＸ信号を検知すると自動的にＦＡＸへ切替えます｡ＦＡＸ信号がない、又は、リモートモードの時は次項を参照してください。
（※ＦＡＸ信号＝ＣＮＧ信号）

４　電話をうけＦＡＸから着信の時
通話中にＦＡＸへ切替えたい時

･電話機より「６」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。
すぐ（５秒以内）に受話器をお戻し下さい。

・電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約１分経過すると通話中のＦＡＸ切替操作はできなくなります。（リモート／自動ベル両モードともに）

5　電話をうけモデムから着信の時
通話中にモデムへ切替えたい時

・電話機より「８」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。
すぐ（５秒以内）に受話器をお戻し下さい。

・電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約１分経過すると通話中のモデム切替操作はできなくなります。

３．２　特殊操作

１　受話器を戻すだけでＦＡＸへ切替えることができます。（オンフック転送）

・テイク３のディップスイッチ９を有り（下）に設定して、電話機の受話器を上げた場合に、相手がＦＡＸであれば受話器を戻すだけでＦＡＸへ切替えることができます。

・リモートモードでナンバーディスプレイが有り（下）のとき、この機能は使えません。電話機より「６」をダイヤルして切替えて下さい。

※ディップスイッチの位置は、８ページの ３．右側面図 を参照して下さい。

※接続回線（ＰＢＸ内線、専用線等）によって、この機能が正常に動作しない場合があります。

２　電話が掛かってきて留守などで出られない時

・自動ベルモードでは、電話の呼出しベルを約３０回鳴らします。応答がない時は回線を切断します。

・リモートモードでは、掛けられた方が呼出しを止める（電話を切る）まで電話機を呼出します。

※リモートモードの時、テイク３のディップスイッチ８を有り（下）に設定しておく事により、１０回以上呼出して応答がなかった時、次の着信は自動ベルモード動作します。

※ディップスイッチの位置は、８ページの ３．右側面図 を参照して下さい。

３　発信側より直接テイク３のモデム端子を呼出す事ができます

・発信側、受信側の双方にテイク３が設置してある場合、ディップスイッチ７を有り（上）に設定しておく事により、発信側モデムから電話番号をダイヤルするだけで受信側モデムを直接呼出す事ができます。

・発信側にテイク３が設置されていない場合、発信側モデムから電話番号をダイヤルし、テイク３が応答した後に「８」のトーン信号（１００msec）を送出してください。

※ディップスイッチ７を有り（上）に設定すると、テイク３が着信した時点で送信先に「ピッ」と音を返します。

※テイク３は必ず自動ベルモードに設定して下さい。

※トーン信号はテイク３が応答した後、８秒以内に送出して下さい。テイク３のリングバックトーンと重なると検知できない場合があるため、トーン信号は連続（２～３回）送出して下さい。

３．３　操作での注意

・プッシュ信号を送出する電話機から「６」をダイヤルしても転送合図音が聞こえない場合は「６６」と「６」を２回続けてダイヤルして下さい。

・切替操作は電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約１分経過すると通話中でのＦＡＸ又はモデムへの切替操作はできなくなります。

・ＦＡＸ、モデムへの切替えは電話着信時に可能です。電話発信時には切替えできません。

4. メインディップスイッチ機能一覧

スイッチNo.	は　た　ら　き	設	定	備　　　考
1	モード切替	**上**	自動ベル	自動ベルモード、リモートモードの切替スイッチです。
		下	リモート	
2	ナンバーディスプレイ	**上**	無し	ナンバーディスプレイサービス回線と通常回線との切替スイッチです。
		下	有り	
3	ＣＮＧ検知	**上**	有り	ＣＮＧ（ＮＣＮＧ）の検知をする、しないの切替スイッチです。
		下	無し	
4	メンテナンス用	**上**		常に上にしておいてください。
		下		
5	メンテナンス用	**上**		常に上にしておいてください。
		下		
6	ＦＡＸモード	**上**	無し	ＦＡＸモードをオンにするかオフにするかのスイッチです。
		下	有り	
7	トーン送出	上	有り	対向サービスの為のトーンを送出するか、しないかのスイッチです。
		下	無し	
8	自動モード切替	**上**	無し	リモートモード設定時、１０回コールででなかった場合、自動ベルモードに移行するかしないかを設定するスイッチです。
		下	有り	
9	オンフック転送	**上**	無し	オンフック転送をするか、しないかの設定をするスイッチです。
		下	有り	
１０	瞬断検知	**上**	有り	相手側が通話を切断した場合、瞬断信号を検知するか、しないかを設定するスイッチです。
		下	無し	

白抜きは初期設定

5. 故障と考えられる時

一度、各項目をご確認して下さい。

症　　状	確　認　及　び　対　処
ランプがいずれも点灯していない	・ＡＣアダプタが抜けていませんか　(→Ｐ10) ・アダプタがコンセントから外れていませんか
電話、ＦＡＸ、モデムから発信できない 発信しようとすると話し中の音がして発信できない	・回線はテイク３のＬ１Ｌ２に接続されていますか　(→Ｐ 9) ・各端末のダイヤル、プッシュの設定は合っていますか ・他の端末が回線を使用していませんか　(→Ｐ15) ・極性は合っていますか　(→Ｐ11) ・極性反転を検知していませんか
電話が受けられない 電話のベルが鳴らない	・電話機はテイク３のＴＥＬ端子に接続されていますか (→Ｐ 9) ・電話機のベルが止めてありませんか
ＦＡＸが受信できない	・ＦＡＸは自動受信になっていますか ・ＦＡＸの記録紙はありますか ・ＦＡＸの電源は入っていますか ・ＦＡＸはテイク３のＦＡＸ端子に接続されていますか　(→Ｐ10) ・送信側ＦＡＸからＦＡＸ信号は送出されていますか　(→Ｐ15) ・送信側ＦＡＸがＦネットを利用していませんか
モデムが受信しない	・モデムは自動受信になっていますか　(→Ｐ10) ・モデムの電源は入っていますか　(→Ｐ12) ・モデムはテイク３のモデム端子に接続されていますか ・テイク３は自動ベルモードになっていますか
電話機から「６」、「８」をダイヤルしてもＦＡＸ、モデムに切替わらない	・「６」、「８」をダイヤル後、すぐに受話器を戻していますか　(→Ｐ15) ・ＦＡＸ、モデムはテイク３に正しく接続されていますか(→Ｐ10) ・ＦＡＸ、モデムの電源は入っていますか ・ＦＡＸ、モデムは自動受信になっていますか
発信側が電話を呼出中に課金されてしまう	・自動ベルモードになっていませんか　(→Ｐ14)　(→Ｐ15)
ＮＴＴの転送サービスが利用できない	・テイク３はリモートモードになっていますか　(→Ｐ13) ・転送操作は間違いないですか
発信側が電話呼出し中に切っても呼出しベルが鳴る	・ＰＢＸ内線／専用線に接続されていませんか　(→Ｐ12)

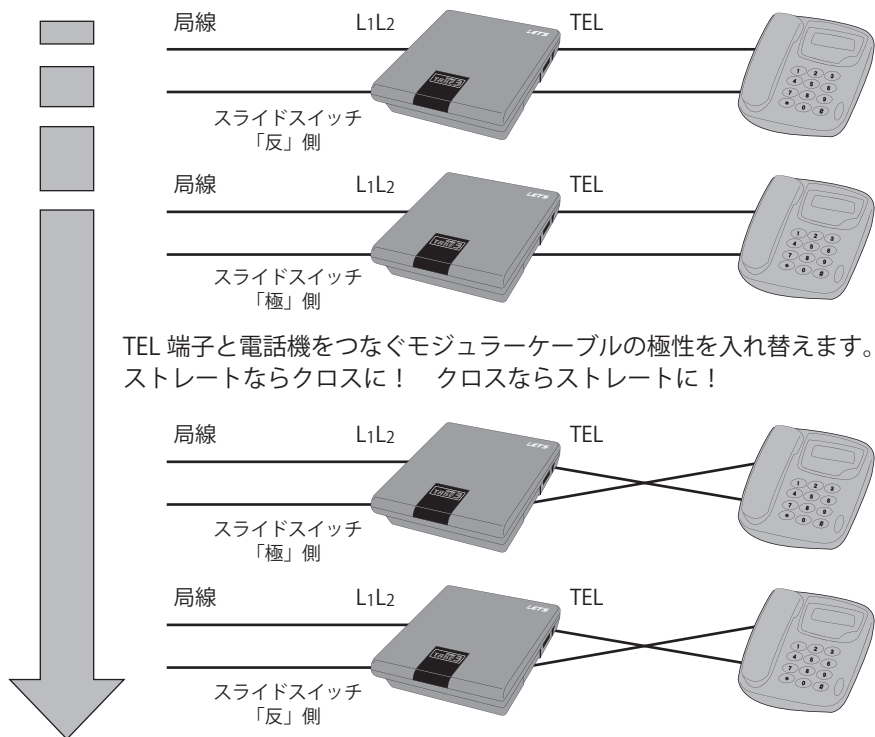
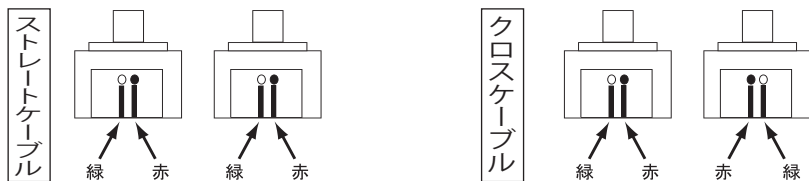
6. 設置手順と注意事項

設置手順1　停電時の極性合わせ

テイク３の電源はＯＦＦの状態です。

準備１　局線をテイク３の L_1L_2 に接続します。
準備２　電話をテイク３の TEL 端子に接続します。
準備３　電話機で発信と着信ができることを確認します。

電話機から発信、着信が正しくできない場合は、以下の手順で極性を合わせます。
（４通り）

TEL 端子と電話機をつなぐモジュラーケーブルの極性を入れ替えます。
ストレートならクロスに！　クロスならストレートに！

ストレートケーブル、クロスケーブルが各１本ずつ添付されています。

※１本のモジュラーケーブルの両端を並べて見た図

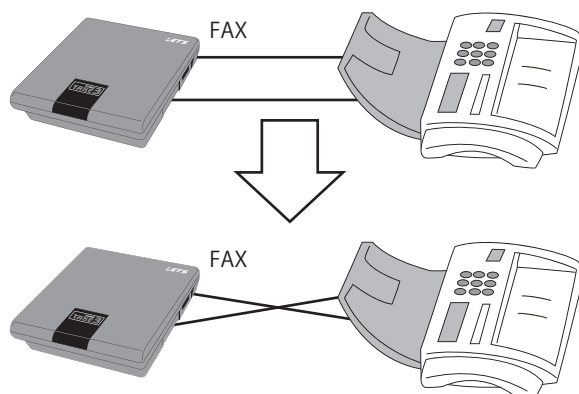
設置手順2　テイク３の電源をＯＮにします

<確認> 電話機から発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、TEL 端子と電話機のモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。

設置手順3　ファクシミリを接続します

<確認> ファクシミリで発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、FAX 端子とファクシミリのモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。

極性違い（+、−）によるファクシミリの動作

- ファクシミリから発信できない。
- 自動発信ができない。（オンフックボタン発信はＯＫなど）
- ダイヤルを止めてしまう。

その他の注意

◇ファクシミリの着信ベル回数は２回以上に設定してください。
◇極性合わせ工事を実施後は必ず最後に電話機とファクシミリによる発信、着信が正常であることを確認してください。

7. 仕様一覧

収容回線数	１回線
接続端末数	３端末
回線接続方式	通信コネクタ
配線方法	２線スター
電源	ＤＣ15Ｖ、400mＡ（センターマイナス）
消費電力	4ＶＡ
温度	5℃～45℃（結露無きこと）
湿度	20%～80%ＲＨ
本体寸法	220×170×40mm（奥行×幅×高さ）
本体重量	約440ｇ
適合認定番号	Ａ０１－０１３５ＪＰ